

はと みね 鳩の峯

NO. 70
2024
8.1

令和6年8月1日



綺麗に清掃された白鶴浜で初泳ぎ

白鶴浜海開きと神事挙行 6月16日(日)

本格的な海水浴シーズンを前に海水浴期間に海水浴に来られるお客さんの事故防止、並びに安全を祈願して木下神主さんのお祓いを高浜振興会会長夏一幸、宝島観光協会藤本会長など玉串を捧げ関係者が安全を祈願して無事に神事は終了しました。

今年も白鶴浜海水浴場が昔のような賑わいが戻って来ます様にと祈りました。

目次

総会開催	2P
白鶴浜清掃作業	2P
水天宮まつり	2P
海開きの神事	2P
十三仏ウォーク	2P
連載その②⑥	3P
料理教室	3P
東京高浜会総会・懇親会	3P
駐在所だより	4P
編集後記	4P

総会開催

4月23日(木)

私達の同い年も古希が目の前に迫っている年齢となりました。体も頭も潤滑性が無くなりつつある今日ですが、何を残せるかを課題に取りくんでいきたいと思えます。皆様のご協力が必要になりますので、よろしくお願い致します。

振興会長 夏 一幸



総会で新役員決定!

会長 夏 一幸

副会長 松本 哲夫

自治福祉部会長 田中 光徳

自治福祉部会長 中田 正満

自治福祉部会長 片浦 由香

公民館部会長 福田 和行

公民館副部会長 松本 哲夫

皆様方のご協力よろしくお願い致します



白鶴浜清掃作業 5月26日(日)

観光名所でもあり、町ぐるみで作業にあたり、気持ちよくお迎えが出来ます

水天宮まつり

6月2日(日)

恒例行事で神に供物を捧げました



海開きの神事挙行



十三仏ウォーク

3月10日(日)

SHIRATURU-HAMAゲートをスタートして約5Kをおおよそ2時間かけて回るコースで40名の参加者で賑わいました。



連載

その②⑥

京都府立大学 文学部 歴史学科 東 昇

三つ子のお祝い

江戸時代の三つ子は大変珍しかったようです。寛政五年（二七九三）正月二六日、峰の由左衛門（五七才）の女房おと（四四才）が、男子一人・女子二人の三つ子を出産しました。

この三つ子誕生は、当時幕府領天草の支配をしていた島原藩にも届けられ、母子ともに達者であると記されています。二月七日には、牛深より御用の帰途で高浜に宿泊した、島原藩土原口金右衛門が三つ子の確認を行いました。この時、原口へ由左衛門家族（夫婦、母かめ八三、弟宇平五四、倅喜次郎二〇、娘たつ二七・つる二二・さつ九才）の名前や年が提出されます。後日、庄屋上田宜珍は、男子出生後に女子が出生し、母子ともに健康、貰乳をして随分大切に養育していると富岡役所へ届け出ました。三子の名は、国吉・とみ・よしでしたが、よしは正月二九日夜に死去しました。その後、二〇日に由左衛門は富岡へ呼び出され、三つ子誕生のお祝いとして、島原藩主より銭五百目が渡されました。



食生活改善推進員（高浜） と諏訪区「料理教室」6月21日（金）

メニュー

豚肉じゃが芋のトマト煮、キャベツの和え物、ピリ辛わかめスープ



心地よい汗をかく作業は楽しくもあります

高浜地区一斉清掃

6月2日（日）



共に故郷高浜小学校の校歌を合唱しました

今年も約70名の参加者が集い、大いに盛り上がりました



東京高浜会総会・懇親会

於：ホテルグランドヒル市ヶ谷

6月29日（土）

広報郵送料寄付

松本清司様(愛知県)

ふるさと応援寄付

東京高浜会



東京高浜会懇親会の司会者、大西さん・川原さん

高浜地区

(令和6年6月末現在)

人口 883人

男 405人

女 478人

世帯数 534戸

高齢化率(65歳以上)
(62.3%) 550人



高浜駐在所の鹿釜さん家族

駐在所だより



この度、春の定期人事異動により、八代警察署から高浜駐在所に赴任して参りました鹿釜(しかま)と申します。

私は上天草市姫戸町出身で、妻と小学5年生の長男、小学2年生の長女、保育園年長さんの次女の5人家族です。

赴任当初は多少なりと不安はありましたが、それを打ち消すような西海岸の素晴らしい景色、どこまで続く青い海、そして何より地域の皆様の親切に助けられ家族共々、心から感謝しております。

近年では、インターネットを通じた凶悪事件や、悲惨な交通事故、巧

妙化した各種詐欺事件が毎日のようにニュースで流れています。そのような情報をいち早く取り入れ、巡回連絡や各種会合を通じ、皆様へ情報発信し、高浜地区から犯罪や事故の被害を出さないと思気込みで「安全・安心なまちづくり」を推進していく所存ですので、皆様方のご理解とご協力のほどお願い致します。

最後になりますが、令和6年3月末から、熊本県内の交番・駐在所(二部を除く)の加入電話が廃止になりました。

皆様にはご不便をおかけしますが何卒ご理解のほどよろしくお願致します。

編集後記

梅雨の前に、夕方白鶴浜を散歩した時、久しぶりに夕陽を見ることができて、西海岸を沈む夕陽がこんなに素敵だったのかと思つた。私たちのふるさとには色々な素晴らしいものがたくさんある。この頃は年を重ねて来たから、こんな気持ちになつたのかと思う。そして、この高浜に暮らすことに幸せを感じる今日この頃である。

